

学齢期障害児：「相談窓口」についてのアンケート（天津市障害者自立支援協議会こども部会）

<自由記述>

相談窓口について

高校生	<p>市役所窓口が相談しにくい。誰が何の担当なのか、どんな人がいるのかが全然見えない。恐らく職員の方の入れ替わりも多いのでは？と感じる。経験と知識のある職員の方に長く在籍してほしい。</p> <p>障害の種類や程度、家庭の収入や家族状況によって受けられるサービスがちがうので、「あなたにはこういうサービスがありますよ」という声かけを行政側から積極的にしてほしい。（他の人が受けているサービスが自分のところに該当するのかわからないので、親同士で話しにくいこともある。知らないまま受けられていないサービスがある。実際に過去にその経験あり）相談、というのは、困り事を抱えた時に、困っている側に立って一緒に考える姿勢で、専門的なアドバイスや情報提供をしてほしい。相談事業所、学校、病院、ヘルプやデイサービスの事業所の方たちは皆さんそういう姿勢で大変心強く思っています。市役所の方にも、そういう姿勢を望みます。</p>
高校生	<p>手帳など、申請書類の簡素化、わかりやすく記載してほしいです。マイナンバーカードと紐付けするとか、もう少し手続きの簡略化をしてほしい。あと申請してから手帳が届くまでかなり時間がかかっていて、何度か市役所に問い合わせたこともあるので、手帳の発行なども簡略化できないか検討してほしい。</p>
小学生	<p>県管轄の制度や手続きと市管轄の制度や手続き内容が分かりにくい。また、県と市の担当の方双方が内容を理解しておらず振り回される事がある。連携や情報発信を分かりやすくしてほしい。</p>
高校生	<p>窓口一本化</p>
小学生	<p>全国的に新規事業所等の相談施設は増えている気がしますが、サービスを利用することで市や国からの補助金が、収益につながるため、件数をこなして事務的になるようなことなら、あまり窓口を増やしても意味がない気がします。</p> <p>相談から本人への支援に繋げてほしいと切に願います。</p>
中学生	<p>放課後デイ等の新規参入の紹介をしてほしい。</p> <p>コロナワクチン、インフルエンザ予防接種など行きつけの病院でしてなかった場合、障害児が安心して行ける病院を紹介して欲しい。すこやかや福祉課に相談したが、教えてもらえなかった。</p>
中学生	<p>個々の特性は様々なので難しいかもしれませんが、我が子の特性と似た先輩方のモデルケース等の情報をもっと豊富にあって、様々なケースでの将来の見通しや、今後の社会生活を送る上での有効な合理的配慮の情報が欲しいと思います。</p>
小学生	<p>幼保から小学校へ、学生から社会人(就職)へに変わる時(幼保時代は発達相談員さん、生活相談員さんが居たが、小学校には居ない)などに相談先が変わったり、相談場所がわからなくなったりするので、相談先の説明(次から発達の事はここに相談してくださいね)や相談先の紹介があればいいと思う。欲を言えば、学齢期には幼保と同じで子どもをよく知る担任の先生、発達相談員さん、生活相談員さんと保護者や本人との相談や話し合いの場を持ってほしい。窓口へ行くのではなく、窓口が来てくれるシステムの方が”こんな事相談していいのかな”という相談渋りや相談をするか悩む事が減りそうです。</p>
小学生	<p>税金控除等、受けられるサービスですが、手帳をくれる時に話して欲しかった。</p> <p>障害児児童手当では、重度なら皆がもらえるようにしてほしい。物を壊されたり、服をかんで破いてしまったり、やっぱり普通の子より大変なのに、収入が多いとももらえないのは、理不尽に思います!!特にうちの場合は、旦那さんが付き合いだったりで沢山使うので、普通の家庭ぐらしか使えないので。</p>

小学生	LINEで案内などが来たら便利かなと思います。こちらから聞いたりしないと案内してくれないことが多いです。
小学生	①障害のある親の会に参加したが、程度が様々だと自分の悩みは別の親からは「軽いもの」となりそれ以降参加していません。同じような人達で集まりがあれば。 ②成長していくに、悩んだり選択をしていこうが、いずれくる社会人になるにあたり、どんな進路があるのかを紙面で欲しい ③障害者年金を貰うようになってでもソレを使う前提の生活設計をたてることはしないで欲しい。親の死後、本人が高齢になると医療が必要になる。その時に医療費に企てられるように、また何かあったときに貯金にもなる。福祉の相談員さんは、今を見てることが多いけど、本人が高齢になる(親が死ぬ、兄妹などもサポートがしづらくなる)その時にむけて考えて欲しい。 ④子供らは「楽なほう」に行きがち。働くことには、責任を持つこと。そこを 本人が嫌と言ってるから違う職場に……など考える相談員に数人出会いました。その場しのぎな相談員だと思えます。先を見ていく、その人の生活を見てあげられる相談員さんは居るのでしょうか？
小学生	学校生活での困り事を相談できる場が欲しいと感じています。担任の先生にはお世話になる分、親から意見を言いづらかったり、障害にかんして知識のない先生であると思うように伝わらなかったりします。そんなときに専門家の先生の力を借りたいと感じます。小学校の支援級に、支援学校の先生や理学療法士、作業療法士の方が来てくださる機会があればと思います。よりよい学習方法を専門家の先生から担任へアドバイスや意見をさせていただきたいです。
小学生	実際にヘルプなどの直接支援にも入ってほしい。
中学生	中学生、高校生の療育を切らないでほしいです。社会に出るまで、その先も一緒にサポートしてほしいです。
高校生	テーマ毎に相談出来る場所があったら良いなと思います。
小学生	障害がある子どものサポートはもちろん必要だが、育てている保護者のサポートも絶対に必要。障害児を持つ親の方が精神疾患に罹患する率が高いのを鑑みても、もっとサポートしてほしい。
小学生	小学生になった途端支援が手薄になった気がする。発達検査や家庭相談員と話す機会をもっと頻繁に設けてほしい。
中学生	学校卒業後に、どういう場所で働いているとか、その内容を閲覧できるサイトなどがあると、助かります。
小学生	自由に外出できないので、電話相談があるといいなと思います。明日都の発達相談室で、予約が一ヶ月後にしか取れないことがよくあり、苦しいこの瞬間に話を聞いてほしいと思っても、なかなか叶わない。
中学生	発達障害は一人ひとり特徴が違ってベストな回答は無いと思います。相談窓口でとても参考になる回答をもらっても、それを活かしたり効いてくるのには、かなりの時間が必要です。子供の問題行動を即刻止めさせたくても難しいことばかりです。なので、相談員に多くのことを求める気は全くありません。話を聞いてもらえるだけで十分だと思っています。そこにほんの少しのアドバイスをもらえると大変有り難いです。 アンケートで自分の気持ちを言える場所を設けてくださりありがとうございました。
小学生	視覚障害児は少なく、交流できる場が親、子、先生も少ないため情報を手に入れにくいし、交流も難しい。盲学校は遠いため、みなが集まらない。視覚障害児同士の交流は必要だと感じているが、京都の視覚支援放デイは府外は小学二年生までのため、継続が難しい。小学生の視覚障害児の親の会など作りたいが…。

小学生	市の学齢期のサービスにはとてもお世話になっていて、非常にありがたく思っています。学校を卒業した後、我が子がどのように生きていけるのかがとても心配です。それからの人生の方がずっと長いので。卒業後も続いて相談ができるようなサポート体制があると、とてもありがたいです。
小学生	近くで直接関わってくださっている学校の支援級の先生や放デイのスタッフの方たちはご自身も研修などを通じて日々勉強されているのか、今はこういう事が必要と新しい情報を取り入れながら子どもに接してくださっていたり、保護者に情報提供して下さり本当に感謝しています。ただ、市役所などにおられる今、直接障害児と関わることがないと思われるいわゆるベテランと呼ばれるような方に相談に乗っていただくと、なかなか伝わらなかつたり、こちらの相談したいこととちぐはぐな答えが返ってきたりして、残念なこともあります。かと言って民間の相談所などは個人情報のことなどどのように取り扱ってもらえるのか？など不安もあります。
小学生	ことばの教室を利用した事が以前にあります、予約を取るまでもに何度も色々な所に電話して何とか予約をとったので、スムーズにしてほしい。思うような助言が受けられなかった経験があるので、もう少し専門的な知識を持ってほしい。また、生まれてから子どもが受けれるリハビリや、就学前に利用できる学習サポートの療育施設などもいつも、親自身がネットで探して始めてどこでどんなサービスが受けれるという事を後から知るとい経験が今まで何度もありました。市の福祉サービスで受ける事が可能なサービスを今までどれくらい受けずに損してきたか、悔しい思いをさせられ続けました。子どもに適切な時期に適切な対応をもっと与えてあげられず、親として切ないです。ワクチンの接種スケジュール表の様に、生まれた時点で今後のこの時期にこのサービスを申請できると言う事が一目でわかる表などを作成してほしいです。
中学生	相談員さんは不足していて業務多忙と認識している。ちょっとした困り事を相談するのに躊躇はしてしまう。遠慮せずに相談出来ると良いですね。
中学生	明日都の子ども発達相談センターのような、今は特に困ったことはないが定期的に検査をしたり継続して成長や様子を見てもらえるような場所が欲しい。明日都も中学3年までなので、継続して見てもらえないのが残念。その後定期的に見てもらうには病院を探すしかないと思うが、今まで病院には行っていなかったため病院選びにも困る。高校生以上になっても定期的に継続的に見てもらえ、困った時はすぐに相談できる場所が欲しい。
小学生	知的障害の子がその重さにより、今までどんな進路をたどり、どんな仕事についているか、はっきり教えてほしい。たくさん例を教えてほしい。とても聞きにくい事だか、思い切って聞いてもはっきりした見通しは教えてもらえない。将来の事が全くわからない。
中学生	保育園に行っていた就学前までは、定期的に発達相談員の先生にお会いして、子供の様子を見ていただいたり、親の状況を聞いていただくことができていました。その中で、「相談したいこと」を見つけていただき、アドバイスを頂いていたように思います。小学校への就学後はそのような機会が無くなり、現状の課題がうまく把握できず、そもそも相談したいことが何なのか、どこの窓口へ相談すべきことなのか、分からないまま、先輩保護者に情報を聞いたりしてなんとか過ごして来ました。小学校、中学校から高校と、その後の進路についてまで、継続して相談できる窓口が是非欲しいです。
高校生	障害名ではなく個性と言ってもらえるのはありがたい。ただ色々対処方法等々を見つけるに当たって親が求めれば教えてもらっても良いのではないかと思います。
小学生	親の方から動かないと福祉の情報が得られないので、もっと手厚いサポートが受けられる体制づくりを求めます。
小学生	具体的なアドバイスなどが欲しい。

小学生	<p>大津市のホームページを見ても、どこへ相談したらいいか分かりにくいです。また、敷居が高く感じ、こんな事相談していいのか、気が引けます。幼稚園の時のように、巡回相談や発達相談を希望者だけでも、小学校でもしてほしいです。</p>
中学生	<p>大津市は、中学までは支援が手厚い方だが、中学卒業後の進路、自立の道しるべが乏しいと思う。もっと軽度、グレーの子達に対して、高校等進路先、自立モデルを示してほしい。その為の情報、相談されてから答えるのではなく、相談機関から発信してほしい。</p>
高校生	<p>制度改正等があった時にわかりやすく子供のサービスや利用料がどのように変わるか、変わるならばその後どうしていけばいいのか？説明を受け相談出来る機関がほしい。制度改正でこれまで利用していた事業所が利用出来なくなると家庭内では一大事問題となります。</p> <p>大津市障害福祉課に地域担当のソーシャルワーカーさんがいるとのことですが…未だお会いしたこともない状況です。</p> <p>こちらから相談がないと対応しないではなく状況把握の為には担当の子供に会って現状を見て欲しいと思います。</p>
高校生	<p>相談窓口側が相談されることを待つ、受け身のままでなかなか改善しないとタイムリーに思っていたところ、こうしてアンケートを取って下さることがとてもありがたく思っています。ありがとうございます。</p> <p>初めて放課後等デイサービス利用の相談した際、『なんで困ってるんですか？今どこもいっぱいなんですよね』と受け入れてすらもらえない高圧的な言い方をされたことがあります。SOSを出しても受け入れてもらえないと1度感じてしまうともう諦めてSOSを出すのすら止めてしまい親御さんも子どもも追い込まれることになってしまうので、そういうことがないようにLINEなど気軽に気持ちを吐き出せるような場所があるといいのかなぁと思いました。</p> <p>人手不足ですし、相手も人間なのでいろんな方がおられるのはわかるのですが…。</p> <p>いちいち全部聞くのは相談員さんも大変だと思うので…直接相談ではなくてもワンクッションなにかあればいいなとは思いました。誰も追い込まれることのない、誰にでも優しい社会になってくれることを望みます。</p>
小学生	<p>相談窓口で感覚過敏の人専門の病院があるか聞いたが、ないようなので、過敏な人向けの病院（内科、耳鼻科、歯科など）ができた方がありがたいです。</p>
小学生	<p>発達障害を専門知識のある職員を配置してほしい。</p>
中学生	<p>障害の状況に応じて適切に、熱心にアドバイスしてくれる専門職がいてほしい。</p>
高校生	<p>誕生～死亡までの一生の事を1ヶ所で相談できる窓口は理想</p>
小学生	<p>どんな子が将来どんな生活を送ってる等色々な症例が知れると子供の今後のイメージができて安心感が生まれます。</p>
高校生	<p>今、自分自身はよい相談員さんに巡り会えてよかったが、幼稚園のときは、周りに同じ状況の人がいなくて困り果てていた。保育園や幼稚園の時期の自分の子供がどんな障がいかが把握しきれていないときに支えてもらえる人がいると助かると思う。たまたま、私の場合、療育の先生に幼稚園に通っているときに相談できて、病院にも通えるようになり、手帳も手にいれられて、子供の障がいを把握できるようになった。今、様々なサービスを受けれて、自分も仕事に行けて本当に感謝しています。学校卒業後がどうなっていくかが今後の不安です。</p>
中学生	<p>ワンストップの窓口を作って欲しい。介護保険の地域包括のような役割。地域との連携もできるように。そこで働きたいです。</p>

高校生	手続きを出来るだけ簡素化してほしいです
中学生	そんな窓口には、同じような子を育てたことのある親がいてくれると気持ちも分かってもらえると思います。
高校生	何もわからない所からのスタートでした。我が子には何が必要でどのようにしたらいいか、又どうした方がいいかアドバイスがほしかった。こちらから働きかけたら、どんどんアドバイスももらえたかもしれないが、何をどうしたらいいのかわからないと相談に踏み切れなかった
小学生	もっと相談窓口が増えると良いな。と、思います。
小学生	大津市は、困った時にどこに相談すれば良いかわかりにくい。子どもの成長は早いのに、発達相談センターはいつも予約が取れず数ヶ月先。検査をして頂けたが、その先にどうして行けば良いのかわからず、継続的な支援がなく困りごとの解決につながりにくい。病院とは提携できないと言われ、結局また自力で探しいちから説明、検査となるので、疲れます。情報を共有してもらえよう病院との提携があれば心強いのにと思う。
中学生	中学卒業後のことが心配です。義務教育を終わったらどこに相談していけばいいのかわかりたいです。
中学生	相談窓口などの情報はあり、お世話になってはいますが、支援員が手一杯だという話を聞くと自分から相談することを躊躇しがちです。 また、初めての所で相談するときは緊張や不安も感じます。気軽に相談できる場所があれば（または気軽に相談できる場所があると知っていれば）、すぐに疑問に思うことが聞けますし、サービスを追加、変更するのを長期間迷うこともなくなると思います。
中学生	義務教育ではないから、というのは分かりますが、中学校卒業後それまでのすべての支援から手を離されるのがとても不安です。市外の学校に行ったとしても市内に住んでいることには変わらないのに。せっかく子発（明日都）ができたのに、成人するまで継続して相談ができないのは本当に残念です。
小学生	今は相談先があるが、成長するにつれて相談先が減るのは困る。あと、相談とは関係ないが、児童の安全を守るため、担任の先生の他に支援級の支援員を増やしてほしい。危険な事例があったので。
中学生	教育的側面や生活上での障害特性による困りごとの解決方法など、相談できる窓口がもっとあると良いと思います。
中学生	以前から相談している内容について、何か進展があれば知らせてもらえるとありがたいです。例えば、利用できる事業所ができた場合などです。 または、1年に1回のモニタリング以外に、半年に1度ほど相談員さんと話して家庭の状況を把握してもらったり福祉サービスの状況を教えもらう機会があると助かります。
中学生	窓口が分かりにくく、また何を相談出来るのかも分かりにくいです。同じような悩みがある親同士の集いの場が欲しいです。相談者ではなく、参考出来る経験があると思うからです。
中学生	こういうアンケートを取られるのはすばらしいと思います。 実際の意見が活かされることを祈ります。 小学校の頃から明日都にはお世話になっておりましたが、中学生になって、LD(書字障害)の診断をしてほしいと相談をしたときに、思うような助言が得られなかった。 知的障害ではなく、自閉症スペクトラムや ADHD などの場合、支援学校という選択肢や手帳をもらうなどもできず、高校進学も普通の子たちと同様にするしかなく、制度やサポートの狭間で苦しむ予感がしています。知的障害ではなくても活用できるサポートや、相談窓口がしっかりある

	と安心できます。また中学生や高校生から大人になるまで、長い目で本人のメンタルや発達をサポートしてくれる相談窓口、やカウンセラー、お医者さんの紹介などがあると嬉しいです。(すでにあるのでしょうか?)
小学生	いつもご尽力頂きましてありがとうございます。 障害を持つ子供の親として、周りの方々への感謝を忘れたことはありません。これから難しい年頃になってくるので、かかりつけ医も小児科→内科、婦人科等に慣れさせていこうと思うのですが、なかなかあちこち試すこともできず、二の足を踏んでいます。医療機関については、受け入れて下さるところと露骨に嫌な顔をされるところがあるので、辛いところです。
小学生	こんな時どうする。など、声かけの仕方など、わりやすいマニュアルがほしい。でも、年齢も年齢なので、大人になる為の成長としてのマニュアルはなかなか目につかないので、10歳以上成人までの過程での声かけや親との関わりがあると、悩んだ時にすぐにわかりやすいので、教えてほしいです。心の余裕があまりない私はどうしようもなくなった時に私も考えれなくなっていたりするので、助けて欲しい時に相談を躊躇って過ごす毎日です。なかなか相談しにくいのが現状なので、マニュアル希望します。
中学生	将来についての情報がわからなさすぎるので教えてほしい
小学生	成人してからが心配。重症者のことも真剣に考えてほしい。
	すこやかは最初の担当の方はよかったが、担当が変わるとかかわりが切れてしまった。子ども家庭相談室はその場かぎりで終わるという印象があり、委託の相談支援事業所は利用者がいっぱい相談にってもらえなかった経験あり。市役所の窓口も障害児を育てる大変さを全く理解してもらえていないと感じる対応です。
	相談したら、「急ぎですか?」と聞かれ突き放された気持ちになり、相談することを一度あきらめた。後日違う相談員さんが細かく話しを聞いてもらい、サービスを利用できるようになった。
	時間の空きが無いとのことで時間が過ぎていった。空きが無くて面談が入れられないのなら、他のところを紹介してほしい。一年半中途半端にしか悩みを聞いてもらえず辛かった時間がもう少し短くてすんだのでは…早く福祉サービスに繋いでくれたら良かったのでは…と思う
	障害児の親は一時の子育てのしんどさ、悩みを抱えているわけではありません。適切な説明や利用できる福祉サービスの説明をしっかり行ってほしいです。そして一番大切なのは気持ちに寄り添ってください。

制度、サービスについて

小学生	重度の知的障害児(小学生)がショートステイを利用しながら通学できる体制を整えてください。
小学生	窓口ではないが、困っていることの支援がもっと手厚くしてほしい。
中学生	フリースペースがあれば嬉しい(読書用・遊び用など静寂を分けた居場所)
小学生	学齢期になるほど休日に安全に過ごす場所がない。障害特性が強いと怖がられたりするので安心して遊ばせることができず親も疲弊してしまいます。行き場がない。野洲市にある、なかよし交流館のような障害児者が優先された安全に過ごしたり遊んだりできる施設が欲しいです。
中学生	子供たちの未来を明るくものにしてあげて下さい。

小学生	感覚統合や言語訓練の場所が少なく、あっても遠かったり重度の子が優先だったりよやくもなかなかとれなかったりする。 障がい理解が健常の子どもたちにもわかりやすく差別がないように小さいうちから道徳など授業の一環として当たり前みんな平等で助け合う思いやりの気持ちが育ったら社会でよりよく生きやすくなるんじゃないと思う
小学生	学校を卒業後のグループホームなど増やして欲しい
小学生	自分の利用先だけでなく、他の方が利用されてる放課後デイについて気になることがある時（深刻な内容でなく運転が気になる…言葉使いが気になる…程度のことなど）伝える機会があればいいと思う時があります。
小学生	一時的に入所できる施設がほしい。障害のある子供が安心して遊べる公園や施設がほしい。障害のある子供がいるため、仕事ができない。養護学校に入ってから正社員を辞めました。生活する中で、こだわりも多くお金がすごくかかります。手当を充実させてほしい。
小学生	（不登校の場合）NPOの障害者施設に通う場合の補助金制度、通学していない場合は毎月の学年費と給食費の支払いを免除して欲しい。
中学生	放課後等デイサービスの事業所について：近年事業所が増えていますが、一方で利益、効率を優先し、子供のことを一番に考えていないなど、質の低下がみられる事業所があります。障害児は商品ではありません。保護者が泣き寝入りで終わらないよう、事業所に改善を促すためにも、苦情窓口や情報の共有ができるシステムがあること、あったとしても今より充実した内容になることを希望しています。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な児が利用出来る24時間看護師が在中してるショート施設の施設 ・北部に24時間看護師が在中してるグループホームを建てて欲しい ・放課後デイやヘルプを利用しているが7時頃迄預かって欲しい ・自宅での入浴が困難になって来ました。仰臥位で入浴出来る施設利用をしたいのにそういう施設が無い為困っている ・移動支援を以前のスタイルに戻してほしい ・北部にもやまびこの様な施設が必要と感じている
中学生	重度の障害児がいて、夫婦で共稼しながら生活費を得る為に、扶養範囲内で働くに当たって「130万の壁」を免除して欲しい
小学生	<p>1. 金銭面：障がいのある子を育てていると同時に、母子家庭です。他県では、水道料金免除、バス交通費無料等あるが、適用がない。ヘルパー費用、放課後デイサービスの費用が、保険料、家賃、電気ガス水道代、食費雑費の上のしかかってきて生きていくのにとてつらい。一人で抱えているものが多すぎて、せめて金銭的な負担をなくしてほしい</p> <p>2：学校面：学校がわの危機感の認識、支援員さんの増員必要です。支援級に通っているが、学校から1時間外に出てしまっていて、気づかれなかった。警察に通報で見つかったが、その地点で連絡が入り、「職員会議を行うので来てください」と言われたが、会議より探すことが先、探す時も子どもの名前を呼ばず探す、警察が来ているとき他の生徒が何があったか聞きに来た時「何もないよ」の一言だった。その数日後は頭のけががあり、眼が届いていない。せめて朝の時間、自由時間、下校時間支援員さんの人数が必要。他の生徒も校内で一人歩きも当たり前の様子。このままでは、確実に危険で人が足りず、先生への負担も大きい。</p> <p>3：精神的負担面：仕事の時みてもらえる人がいないため、公的にヘルパーさんや放課後デイサービスに頼るしかない。この間、親側からの要望、声が上がらなかったため、ヘルパー費用負担額がかかることになったことを知った。けれど、声を上げる時間、精神的余裕がないことを考慮に入れてほしいです。</p>
小学生	将来本人が経済的に困ることのほうが心配なので、そのあたりの年金等を充実させてほしいです。

何を質問したらいいか…

中学生	まだまだわからない事が、多く何を質問させてもらったら、良いかわかりません。
-----	---------------------------------------

満足

中学生	特別支援学級の先生や放課後デイの方と連絡や相談をよくしていますので、現状でほぼ満足しています
-----	--

学校について

中学生	高校に支援学級がなく、サポートがあるのか不安。学校の定期テストでは、注意欠陥や作業効率の悪さ、問題の意図が読み取りにくい、考えはあるけど文が書けない、などで学力があっても内申点やテストの点数がとりにくく、持っている力を充分発揮できないので、進路に影響するのが不安です。
高校生	障害のある子供の進路について。卒業後の相談先について。どんなところに、誰に聞いたらいいのか教えてほしいです。
小学生	学校の支援学級の親の会、支援学級を卒業してからの話、進学の話を知りたい。支援学級に通われてからの高校への進学率、就職率など。学校の先生と、親、と、相談員みたいな方と3者で話せる場がほしいです。学校の先生の指導法などを、他の方の目でも見てほしいです。
小学生	地域の小学校の支援級に通う子どもに寄り添った勉強ができるように、先生の配置や人数について、相談して解決に導く、第三者の専門機関に介入してほしい。カリキュラムも一人ひとり個別に専門家が組み立ててほしい。現状は先生不足で、諦めざるを得ない状況なので。
小学生	通常学習ではなく、障害用の学習サポートをする上でのICT活用を一緒に考えてくれる場がほしい。拡大、音声読み上げ、文章取り込み、ルビふり、絵画サポートなどを相談でき、iPadのアプリ制限を一部解除するよう教育委員会と交渉しやすい環境がほしい。
小学生	中学を卒業した後の選択肢として、もっとたくさんの学校（支援学校や養護学校など）があればいいと思います。
小学生	いろんな面で留年や得意な科目選択制や、飛び級制度など、学校の形を根っこから変えて行くべきだと思う。変わった子と言う目線ではなく、それに優れた子と言う評価にして行くべき時代だと感じます。
高校生	大津市立中学校の特別支援級に通っていたが、やはり健常者が主に通う学校のため、システムが特別支援学級に通う子ども達に対応しきれていない。大津市として横断的にシステム化していくべきです。働いておられる先生個人の負担が大きいように感じた。役所として縦割り行政の枠を超えて連携していけばみながラクになっていくはずで。
小学生	中学校に上がったことが早く知りたいです
高校生	障害のある子がいる家庭の生活の中で様々な影響があることとして、草津養護学校の大規模化問題を積極的に解決する方向に動いてほしい。合わせて、地域の小中学校の支援学級の環境改善をはかってほしい。大津市南部、瀬田4学区は特に人口増加でどの学校もマンモス化している。住宅開発するなら、それに合わせて学校と特別支援の受け皿を新設する必要がある。マンモス化した学校環境は子育てするうえでの困難が増える、障害のある子の生活環境にも悪影響あり、そのしわ寄せが草津養護学校の大規模化につながり、そこに通う子どもにはそれ以外の選択肢はない、この状況を改善することは急務です。県立の学校ですが、大津市立の小中学校の支援学級との関連が深いので、市民の立場に立って動いてほしい。